

# 北海道浮魚ニュース

平成10（1998）年度第25号（通巻 No. 46）

1998年11月9日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 道東太平洋サンマ・マサバ漁期後調査結果

### 道東沖にサンマ漁群は少なく、主群は南下した模様 カタクチイワシとマイワシが多く分布

北辰丸（釧路水産試験場調査船）によって行われたサンマ・マサバ漁期後調査の結果をお知らせします。

調査期間：1998年10月26日～30日

調査海域と調査点（図1）：道東太平洋（北緯41度50分～42度40分、東経143度50分～145度30分）の3調査点（荒天のためST.5では漁獲調査を実施できなかった）

調査方法：9種類の目合（22, 25, 29, 37, 48, 55, 63, 72, 82mm）の流し網を用いた漁獲試験とタモまたは釣りによる漁獲試験

#### ①表面水温（表1）

表面水温はST.5を除き、12.6～13.7℃で前年（13.9～14.2℃）より低かった。

#### ②漁獲尾数（表1）

流し網を用いた漁獲試験の結果は表1の通り、サンマ漁獲尾数の合計は94尾であった。調査1回流し網1反あたりのサンマ漁獲尾数は2.2尾で前年（28.9尾）、平成8年（31.9尾）を下回った。

マサバは1尾しか漁獲されず、前年（13尾）を下回った。

カタクチイワシとマイワシがそれぞれ3,896尾、506尾と多く漁獲された。

#### ③体長組成（図2、図3、図4）

調査全体のサンマの体長組成を見ると特大魚（体長32cm以上）1.1%、大型魚（29～32cm）12.3%、中型魚（24～29cm）77.3%、小型魚（20～24cm）3.3%、ジャミ（20cm未満）6.2%で特大・大型魚は少なく中型魚主体であった（図2）。

調査全体のカタクチイワシの体長組成のモードは12cmであったが、ST.7で体長7～10cmの小さなカタクチイワシも漁獲された（図3）。調査全体のマイワシの体長組成のモードは11cmであった。ST.7で体長15～17cmのマイワシも漁獲された（図4）。

1尾漁獲されたマサバは体長22cmで0歳魚と思われた。

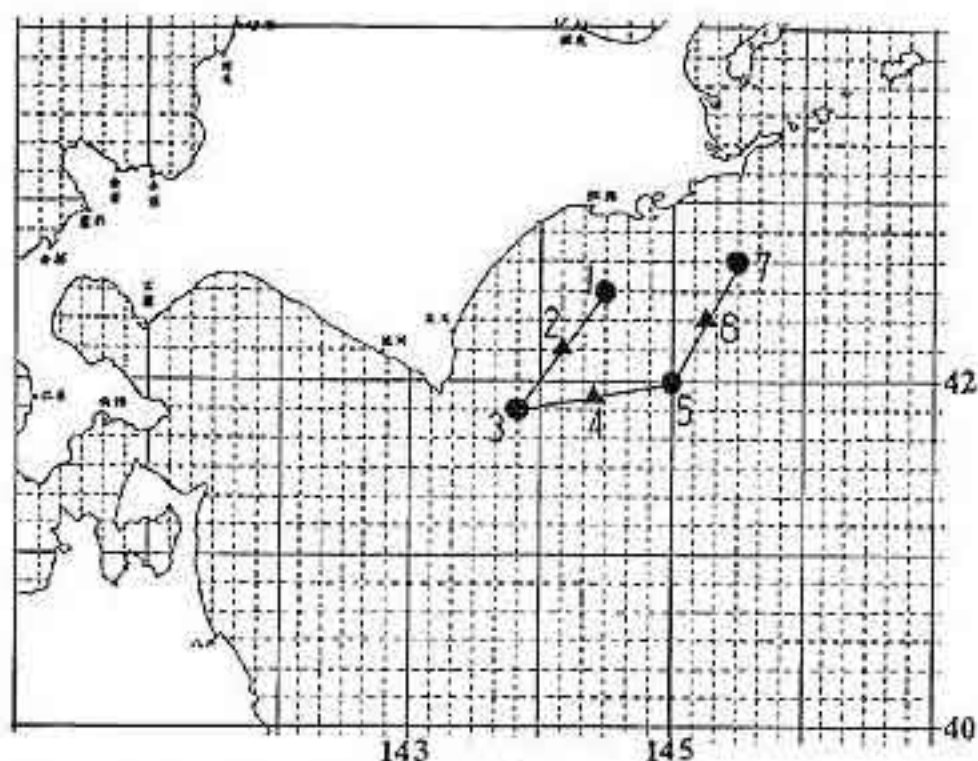


図1 調査点図 (●: 漁獲調査及び海洋観測点 ▲: 海洋観測点)

表1 平成10年度サンマ・マサバ漁期後調査の調査点別漁獲尾数

ST	1	2	3	4	5	6	7	
揚網日	10. 27		10. 28		欠		10. 30	
位置	北緯	42-30	42-10	41-50	41-55	42-00	42-20	42-40
	東経	144-30	144-10	143-50	144-25	145-00	145-15	145-30
水温 (℃)	0m	12.6	13.6	12.9	13.1	16.2	13.7	12.9
	50m	7.2	4.7	10.6	11.2	12.1	5.5	5.8
	100m	3.4	5.2	7.0	4.1	3.6	3.4	2.6
サンマ漁獲尾数	16		73				5	合計 94
マサバ漁獲尾数	1		0				0	1
その他	マイワシ	431		1			71	508
	カクタイワシ	3,566		206			124	3,896
	スズメバチ	0		0			0	0
	アサギ	1		20			21	42

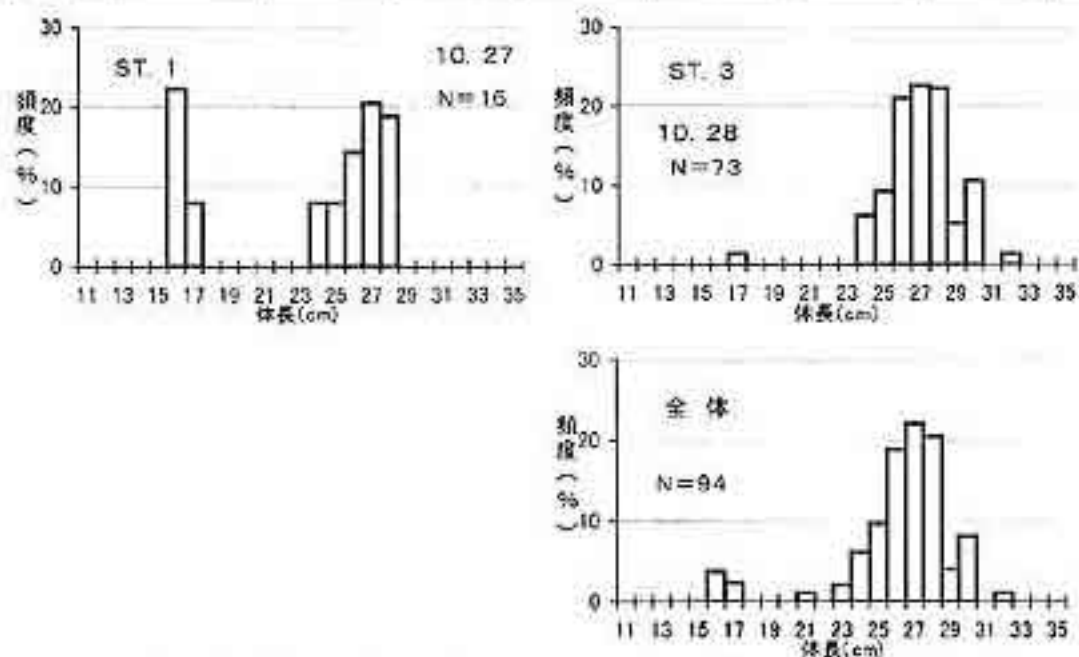


図2 流し網調査で漁獲されたサンマの体長組成 (Nは漁獲尾数)

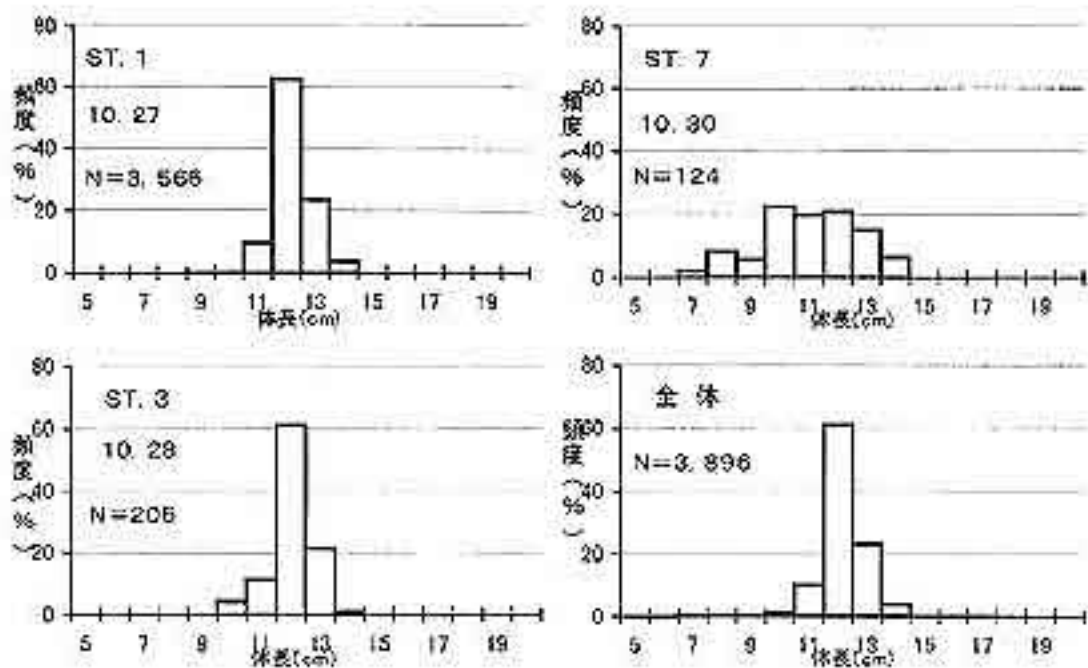


図3 流し網調査で漁獲されたカタクチイワシの体長組成 (Nは漁獲尾数)

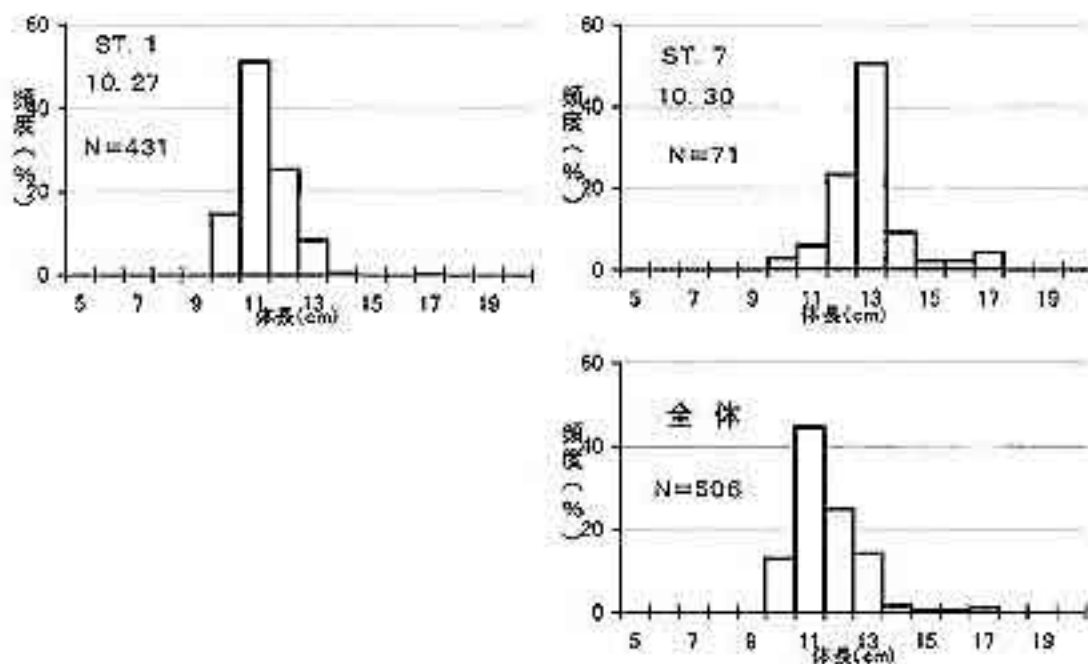


図4 流し網調査で漁獲されたマイワシの体長組成 (Nは漁獲尾数)

※体長組成：流し網の目合別に上限100尾測定、それを目合別の漁獲尾数で重み付けして合計し、全体の組成を算出

(文責：釧路水試資源管理部)